

『誰か』 作：ポチ子

『誰か』 作：ポチ子

誰の心にも届く、

誰かの心に響く、

そんな演技がしたいと思った。

この回答は、正しくて、素晴らしいものだと思っていた。

ずっとそうやってきたけど、

でも、気がついた。

誰かって誰だ。

私が届けたい誰かって何だ。

私が誰かで片付けたその人たちは、

確かにどこかに存在している。

それなのに私は、

その人たちを誰かなんて言葉で呼ぶ。

私は、本当にその人に届けたいと思ってたんだらうか。

その人を見ようとしてたんだらうか。

自分がしたいことができるように、

その人を言い訳に使っていただけなんじゃないか？

向き合うつもりもないのに、

考えたこともないのに、

誰かなんて言葉を使えば、

全て説明できると勘違いしていた。

届けたいことは何だ。

届けたい人は、誰だ。

そんなことも答えられずにいた。